

オンライン開催
無料

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた 地域プラットフォーム 形成シンポジウム

第3回ワークショップ

2021年11月19日(金) 14:30-17:00

対象 コロナ対策に係わる地方自治体・医療現場・
大学等研究開発機関・企業の皆さま
定員 150名

ABOUT

昨年度より新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて活動する地方自治体の皆さま、企業や大学等研究機関の皆さまを対象に、「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム」のワークショップを開催しました。コロナ感染防止に向けて活動される皆さまのご尽力でワクチン接種が進む一方、デルタ株のまん延に対して新たな局面での初動が大切な時期となっております。新型コロナの早期収束とコロナに負けない柔軟な社会づくりを目指して、広域・産学官連携のためのネットワーク構築の機会として頂けましたら幸いです。

THEME & SCHEDULE

テーマ 福岡バイオバレープロジェクトによる
新型コロナウイルス感染防止の取組

- 14:30 主催者挨拶
- 14:40 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組報告
公益財団法人全日本科学技術協会
- 14:55 事例紹介1(講演/質疑応答)
「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた
福岡バイオバレープロジェクト事業の紹介」
福岡県商工部新産業振興課水素・バイオ班 企画主幹 藤田 敏明 氏
- 15:40 事例紹介2(講演/質疑応答)
「ボナックによる新型コロナウイルス感染症治療薬の研究開発に向けた取組紹介」
株式会社ボナック R&D本部 久留米RDサイトヘッド 濱崎 智洋 氏
- 16:15 事例紹介3(講演/質疑応答)
「KAICOによる新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組紹介」
KAICO株式会社 代表取締役社長 大和 建太 氏

SPEAKERS & OVERVIEW

事例紹介1

藤田 敏明 氏

福岡県商工部新産業振興課水素・バイオ班 企画主幹

概要

福岡県では、県南部の久留米市を中心にバイオ関連企業・研究機関等集積を目指す「福岡バイオバレープロジェクト」を推進しています。本発表では福岡バイオバレープロジェクトの概要と、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた支援施策について報告します。

事例紹介2

濱崎 智洋 氏

株式会社ボナック R&D本部 久留米RDサイトヘッド

概要

ボナックは医薬品分野で有望といわれる核酸医薬のコア技術を有する福岡県のベンチャー企業であり、2020年に福岡県保健環境研究所とボナックはそれぞれの強みを活かし、共同で新型コロナウイルスの治療薬開発を開始しました。さらに2021年4月には、AMEDから新型コロナウイルス感染治療薬の研究開発事業に採択され、治療薬の研究開発がさらに加速することが期待されております。本発表では、ボナックにおける新型コロナウイルス感染症治療薬の研究開発に向けた取り組みについて紹介します。

事例紹介3

大和 建太 氏

KAICO株式会社 代表取締役社長

概要

KAICOは、技術導出元である九州大学農学研究院日下部研究室の主導のもと、新型コロナウイルスに関して、組換えウイルス抗原と組換え抗ウイルス抗体の共同開発を行い、新型コロナウイルスのスパイクタンパク質(Sプロテイン)三量体の抗原開発に成功し、複数の抗体との結合を確認しました。この開発成果をもとにプロテックスと抗体検出キットを共同で開発しました。本発表では、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、KAICOにおけるワクチン・検査体制整備に向けた取り組みについて紹介します。